

2017.6.9 発行

梅雨に入り、あじさいがきれいに咲いていますね。

みなさんこんにちは！SSH 文系チームです。今回は野沢侑希、深澤維阿、藤巻吉道が担当します。よろしくお願ひします。

さてさて、今回取りあげるテーマは・・・

サイエンスレクチャー

です！！

先月14日に行われたこのイベントは地域の中学生を対象に、本校職員がサイエンス講座を開き、**科学の楽しさを知ってもらうと共に「蕪高生との交流を深める**

“ことを目的としています。今年度は、蕪崎東中、須玉中、泉中、白根御勅使中など近隣10校から39名の中学生が参加してくれました。また、蕪高からも27名がサイエンススタッフとして参加し、実験の準備やサポートなどを立派に務めました。特に今年度は大勢の高校1年生が参加してくれて、科学に興味を持っていると分かり、これからとても楽しみです。2、3年生のみなさんはさすが経験値も高いので、落ち着いていろいろなことに対応していました。

それではサイエンスレクチャーの6つの講座の内容を簡単に紹介します。

<実施内容>

コース	内容
物理(日高先生)	熱って何だろう？中学校や高校で学習する熱の話でその正体に迫りました。また、液体窒素の実験を通して超低温の世界を体験しました。
数学(成嶋先生)	モンティホール問題や高校生で習う条件付き確立の問題を解きながら、確率・統計について学びました。
数学(角田先生)	実は一筆書きはさまざまなことに利用されています。今回は一筆書きのルールをクイズなどで楽しく学びました。
化学(坂本先生)	皆さんは酸化とはどういう現象か知っていますか？ここではさまざまな物質を酸化還元してその現象に迫りました。
生物(古屋先生)	皆さんも一度は耳にしたことがある葉脈標本。でも作ったことがある人は意外に少ないのでは？今回はその仕組みを解き明かし実際に作ってみました。
地学(中澤先生)	皆さんもよく知っている砂。でも砂は普段皆さんが見ているものだけとは限りません。いろいろな顔を持つ砂の正体に迫ってみました。

講座は講義・実験・まとめの三構成。参加した中学生の皆さんは高校生と一生懸命に講義の内容をノートにまとめたり、積極的に実験に参加したりと、有意義な時間を過ごしました。蕪高生と中学生が楽しく交流し、中学生からは「**中学校ではできない実験ができた、知識が増えてとても良い経験になった**」「**蕪高生になって今度は教える側になりたい**」「**高校生や先生の説明がとても分かりやすく楽しかった**」などの感想が寄せられました。



◆今回のサイエンスレクチャーに参加した中学生と蕙高生に感想を聞きました。
その一部をご紹介します！

《中学生》

生物コース

水酸化ナトリウムに「たんぱく質を変性させる」という性質があるから葉肉部分はたんぱく質で、葉脈は違う物質であることがわかった。



化学コース

自分の知らなかったことが実験することでわかりやすく理解できたし、実験をすることで何かを見出せる楽しさが感じられました。

物理コース

液体窒素に風船を入れると小さくなって温度が戻っていくと形が戻っていくことがわかった。発熱、吸熱反応のことが実際に実験を通して理解できた。



《高校生》

数学コース

身近にあるのに学校で学ばない数学を知ることができた。プリントやプロジェクターを使ってわかりやすかった。

S S N

皆さんこんにちは！「SSN（スーパーサイエンスニュース）」のコーナーです。

このコーナーでは、サイエンスにまつわる興味深い話題、面白い出来事などを皆さんにお伝えしていきたいと思っています。

木星上空に「雪の雲」?! (ジュノーが撮影)

木星探査機のジュノーが木星の上空でガスでできた雪の雲を撮影したそうです。木星はガスでできていますが、あまりの低温のために構成部分が凍って雲になっているようです。この雪は大部分がアンモニアの氷で構成されていると考えられているそうです。これほど多数の氷の雪が観測されたのはこれまでで初めてです。



(文責 2年6組 野沢侑希 深澤維阿 藤巻吉道)